

令和6年度 第1回 石岡市総合計画審議会 会議録

1 会議の名称

令和6年度 第1回 石岡市総合計画審議会

2 開催日時

令和6年 11 月7日(木) 午前9時 30 分から午前 11 時 00 分

3 開催場所

本庁 1 階 メロディアスホール

4 出席者氏名

別紙「令和6年度 第1回 石岡市総合計画審議会出席者」のとおり

5 議題

(1) 今年度の主要事業について

・令和6年度リーディングプロジェクト(資料1・2)

(2) 第2期基本計画の進捗について

・基本計画における各指標の進捗状況(資料3)

・基本施策評価(資料4)

(3) 地方創生石岡市総合戦略の進捗について

・総合戦略における KPI 等の進捗状況(資料5)

6 会議内容

【次第1】 開会

事務局

これより、令和6年度第1回石岡市総合計画審議会を開会いたします。

本日の会議でございますが、出席委員は14名であり、本審議会条例第6条第2項に規定する定足数を満たしておりますので、この会議は成立していることをご報告申し上げます。また、会議につきましては、石岡市総合計画審議会傍聴要綱に基づいて公開とさせていただいております。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

【次第2】 会長あいさつ

会長

本日は進捗状況の確認の他、総合計画と一本化した総合戦略における KPI の進捗状況の確認もあるため、皆様のご議論をよろしくお願いします。

事務局 続いて、新たに委員になられた方のご紹介をさせていただきます。石岡市PTA連絡協議会 野村 禪(のむら しずか) 委員です。

それでは、議事に入りたいと思います。これ以降の議事については会長にお願いいたします。

【次第3】 議事（1）今年度の主要事業について

・令和6年度リーディングプロジェクト（資料1・2）

会長 それでは、本日の議事である、「基本計画について」を議題とする。
はじめに、「今年度の主要事業」について、事務局より説明をお願いする。

事務局 本市においては、総合計画、基本計画の中で、各施策の展開をリードする事業をリーディングプロジェクトとして位置づけ、各年度の主要な事業や取組をまとめている。

令和6年度からは、第2期基本計画に基づき、

- ・人口減少対策プロジェクト
- ・輝く「魅力向上」プロジェクト
- ・輝く「まち」プロジェクト
- ・輝く「ひと」プロジェクト
- ・輝く「暮らし」プロジェクト
- ・チャレンジする市役所プロジェクト

の6つのプロジェクトを設定しているので、次のページから、各プロジェクトの内容について、ご紹介する。

まず、資料3 ページから8 ページは、「人口減少対策プロジェクト」である。こちらは、令和6年度から新たに追加したプロジェクトで、若い世代が結婚、出産、子育ての希望をかなえられる、魅力あるまちづくりを進めるため、出生率向上と移住推進の2本柱をパッケージ化したものである。各事業をライフステージごとにまとめ、各ステージでどのような事業があるのかをまとめている。

次に9 ページ、10 ページについては、輝く「魅力向上」プロジェクトとして、総合計画上の政策目標1「情報発信」、政策目標2「歴史・観光」に該当する事業のうち、主要なものを位置付けている。関係人口や交流人口の創出に向けて、シティプロモーションをはじめとする様々な取組を行うとともに、本市の強みである歴史・文化財の保存や活用、観光資源の磨き上げなど通して「魅力向上」を図る。

新規事業としては、合併20周年に向けた取組、拡充事業としては、シティプロモーションや誘客プロモーションの推進がある。

次に 11 ページ、12 ページについては、輝く「まち」プロジェクトとして、総合計画上の政策目標 3「安全・安心」、政策目標 4「都市基盤・環境」に該当する事業のうち、主要なものを位置付けている。石岡駅周辺の整備や高浜駅周辺のまちづくりの検討をはじめとした取組により、住み良いまちを目指す。また、災害の発生や犯罪などに対して、安心して暮らせる環境整備、ゼロカーボンシティに向けた取組をすすめ、市民のみなさんが日々生活する基盤である「まち」づくりに磨きをかけていく。

新規事業としては、防犯灯電気料支援事業や、市役所での電気自動車の導入がある。

次に 13 ページ、14 ページについては、輝く「ひと」プロジェクトとして、総合計画上の政策目標 5「健康・福祉」、政策目標 6「子育て・教育・学び」に該当する事業のうち、主要なものを位置付けている。妊娠・出産・子育て・教育に対して、切れ目のない支援を行うことで、総合的な子育て支援や、教育環境の充実を図る。また、石岡市に必要な保健・医療体制の強化を図ることや、生涯現役社会を目指すことで、それぞれのライフステージでの活躍を支援する。

新規事業としては、こども家庭センターの設置や保育所等の体制強化の推進、令和 6 年度の給食費の無償化、給食への有機食材の活用、コミュニティスクールの導入、プール授業の民間委託の試験導入などがある。

次に 15 ページ、16 ページについては、輝く「暮らし」プロジェクトとして、総合計画上の政策目標 7「産業・経済」、政策目標 8「地域・文化」に該当する事業のうち、主要なものを位置付けている。企業誘致をはじめとした各取組を推進し、持続可能な商工業や農業の振興を図る。また、市民が主体となる、様々な文化芸術活動や地域コミュニティの活性化に向けた取組の支援、国際交流の推進などにより、様々な人が活躍できる共生社会の構築を目指す。

新規事業としては、商店街の街路灯に対する電気料や LED 化などへの補助、奨学金返還支援、オーガニックビレッジ宣言に向けての取組、コミュニティ事業費補助金、音楽ワークショップの開催などがある。

最後に 17 ページ、18 ページについては、チャレンジする市役所プロジェクトである。こちらのプロジェクトは、常に改善・改革に取り組むチャレンジ精神を重要ととらえ、行財政改革大綱として総合計画で定める各政策目標を下支えするものである。チャレンジする市役所の 2 大テーマとして、組織・人材マネジメントの充実と経営・財務マネジメントの充実を掲げている。具体的な取り組みとしては、ふるさと応援寄附金事業や人材確保の強化、デジタル化の推進等がある。

以上が、資料2の説明であり、資料1については、これまで説明させていただいた、令和6年度リーディングプロジェクトに掲載されている事業を一覧にしたものである。参考資料としてご活用いただきたい。

以上が令和6年度のリーディングプロジェクトの内容である。
説明は以上とする。

会長

事務局より、資料1及び資料2の説明があった。「令和6年度リーディングプロジェクト」について、また、今後、石岡市で重点的に実施していくべきことについても、ご意見を願います。

委員

人口減少対策プロジェクトについて、市ホームページを見ると、一番最初に掲載されていて、勧めていきたいとの市の意思を感じる。しかし、移住を勧めるのであれば、サブタイトル的に移住者の方の目線でプロジェクト名を記載した方がいいのではないかと感じた。例えば「ウェルカムいしおかプロジェクト」、「みんな応援プロジェクト」など。移住者を1,000人ほど増やす計画を立てているため、ぜひそういった目線に立ったプロジェクト名があった方がよいのではないかと。

それに関連して、石岡市が様々な支援事業を行っているというように掲載されているが、昨年度審議会でも申し上げたが、「他の自治体と比べてどうなのか」というところの切り口が足りないと感じている。出産・子育て応援給付金、すくすく赤ちゃんクーポン事業、保護者向け連絡アプリの導入、高校生への給付型奨学金、移住支援金等は、全国でもそんなにたくさんの自治体はやっていない。調べてみたところ、すくすく赤ちゃんクーポン事業は93の自治体しかやってない、今挙げた5つの支援事業は、すべて300以下の自治体しかやってない。だから、PRポイントとして、ホームページの最初の方で他の自治体より進んでいるんだ、と強調してはどうか。

10ページ、観光振興について、予算は観光協会への補助金、出資金と理解している。しかし、市ホームページを見ても観光協会の取り組みが明確ではない。約6,700万円を使ってどんなことをするのか、わかるような仕組みが欲しいと感じている。誘客プロモーションの推進も同じく、明確でない点がある。また、基本施策評価の10ページでは、周遊プランが2つあるとのことであったが、市のホームページ、観光協会のホームページを見ても2つの周遊プランは見つからなかった。周遊プランがわかるような工夫が必要ではないかと。

12ページ、安心して暮らせる環境整備の点であるが、空き家対策について、そもそも何件空き家があるかわからない。どれぐらい把握しているか伝わるような工夫をしていただきたい。ちなみに、今年度の空家解体予算は60万円しかない。本気でやっているかどうか伝わってこないように感じた。

防災対策で、組織の活性化というのをかけ、R5決算書P.90では自主防災組織活

性化補助金で 5,100 万円を使ったことになっているが、R6 予算は 90 万円しかない。これは去年やり切った、という理解でよいのか。

事務局

まず、人口減少対策プロジェクトに関してだが、これについては、令和 6 年度からあらためて力を入れていくことになっているものであるが、ライフステージごとに、市で行っている様々な支援・取り組み等をわかりやすくまとめたものである。ご指摘いただいたように、サブタイトルを入れたらどうか、という意見、また、市独自に行っている取り組みについて、もっと PR をした方がいいのではないかという意見についてだが、PR の方はわかりやすくできるように、次年度以降検討させていただきたい。

観光協会の活動に関しては、令和 6 年度より法人化し、新たに活動を強化しているところである。さまざまな活動を行っているところだが、その PR についても、わかりやすくできるよう進めていきたいと考えている。

空き家対策に関しても、各部局に事業がまたがっていたものを令和 6 年度から「空き家対策室」として一本化したところである。ご質問の 60 万円は空き家の解体費用の補助金であるが、様々な課題があるため、令和 7 年度に向けて、あらためての検討を進めているところである。

防災対策について、自主防災組織活性化補助金の予算が令和 6 年度は令和 5 年度より少ない、というご指摘だが、これは令和 5 年度は住宅環境を測定する事業があり、その分で多かったが、令和 6 年度はその事業がないためである。

会長

事務局としてはしっかりと取り組んでもらいたい。他に何か意見はあるか。

委員

8 ページ、新規就農者への支援について、やさと農協においてだが、県外からの新規就農者が昨年まで経常的に増えており、年間 2 組募っていたが、残念ながら、昨年は 1 組、今年はまだ受け入れが決まっていない状況である。というのも、他の市町村との競争が激しくなっているためである。農業人フェアという催しが東京で開催されるのだが、そこで朝日里山学校の担当者、農政課の担当者が出向き、石岡への新規就農の PR をする。しかし、なかなか来ていただけない。必要なのはほかの部局、例えば夫婦を対象に受け入れをやっているため、子育て支援であったり、学校教育の部分であったり、そういった支援事業が石岡市にはあるということを紹介できるような、他の部局と連携した体制づくりが必要ではないかと感じている。

事務局

農政課からも、以前は「八郷地区で新規就農を始めませんか」という PR を行うと、話を聞いてくれるお客さんがいたが、昨今は新規就農募集の話が他の自治体でも出てきて、今まで通り PR してもお客さんが集まらなくなってきた、という話は聞いている。農政課から、これから石岡市で農業を始めるメリット、移住支援や子

育て支援等、八郷で農業をするとこんなにいいんだよ、ということを強く PR し、新規就農を進めていきたい、という相談を受けている。次年度に向けて、制度設計を検討しているところであるため、成果が出るよう取り組んでいきたいと考えている。

委員 7 ページ、奨学金返還支援事業について、「介護・福祉分野等の従事者へは補助率をかき上げします」とあるが、「医療分野」についてもこれに含まれれば、もう少し市内の病院等で働いてくれる方も増えてくるのではないかと考える。

事務局 「医療分野」の従事者も補助率のかき上げに含まれる。

委員 11 ページ、輝く「まち」プロジェクトで、駅周辺のにぎわい増加や、これからバスステーション等の整備等もあるかと思うが、この事業の費用対効果はどういう風に考えればよいのか、例えばどれくらい税収が上がるか等のところを聞きたい。

事務局 石岡駅の周辺整備事業というところと言うと、明確に費用対効果、どれくらい税収が上がるか、というところを示すのは難しい。

委員 大きな金額を割いているわけで、将来、市としてどういう形でお金が入ってくるようになる、という仕組みを作っていないといけないのではないかと。お金を使えばなしにしてはいけない。

その他、石岡駅が橋上化され、そこを何人通ったか、という調査を行っているかと思う。その調査で、何人通った、で終わりにするのではなく、何人通ったから、その分でどれくらい市にキックバックされた、ということ等を含めて分析していないといけないのではないかと。以前は 500 人だったが、1,000 人になったので、石岡市にこれくらいキックバックがあるよ、と、わかるように分析してほしいな、と思う。

事務局 市としても、総合計画全体の中で、人口減少対策プロジェクトを一番に考えており、人口を増やすことによって税収を増やしていくということも重要と考えている。それにつながるような、事業を行っていければと思うが、この事業をやったからすぐにいくら税収が上がる、と数値化するのは難しいが、それぞれの事業の中で個別の数値目標を設定し、勧めていきたいと考えている。

会長 経済効果を出すのはなかなか難しいところはあるが、見込は考えなければならぬところではあるので、参考となる資料をもとに、市に対しては引き続き先を見ていってほしい。

委員

1 点質問だが、8 ページ、住まいに関する助成事業、1,990 万円で、どれぐらい使われているのか教えてほしい。自分自身、建築設計を行っているが、市内で建物を建てる方で、意外とこの補助金を知らない方が多くいる。こちらから説明して初めて知る方が多い。上限が 50 万円だったかと思うが、建築コストは近年、かなりアップしているため、50 万円はけっこう大きい。石岡に住むメリットとして、つくば市等と比べ、広い土地に家を建て、ゆったりとした生活ができる点があるが、そういった生活を望む若者も多い。補助金があること、石岡市に住むメリットをアピールすることで、補助金も有効活用できるのではないかな。補助金を使って家を建てた方のインタビュー等をホームページに載せる等すれば、他の自治体と比べ、もっとアピールできるのではないかな。

もう一点、石岡に住みたい若者も多いと思っている。しかし、市内で農業をしたい、起業をしたい、と思っても、居住できる古い農家の家が見つからない。農家の空き家は大幅増えていると思うが、住みたい人とのマッチングができていない。空き家対策も、住んでくれる人を待っているだけではなく、市の方から声をかけられるように、積極的な空き家の掘り起こしをお願いしたい。

事務局

住まいに関する助成についてはPRが足りないのでは、というご意見はごもっともと考えている。さらなるPRを進めていきたいと考えている。

空き家とのマッチングも課題と認識している。空き家対策室とも連携し、R7 に向けて対応を考えていきたい。

また、助成事業の申請件数についてだが、R5実績で木の住まい助成事業が 9 件、住まいづくり推進事業 18 件である。

委員

9 ページのハーフマラソンについて、これは単発の事業か。年に何度かあるのか。

事務局

年に一度の事業で、昨年度が初回である。来年も2月に開催予定である。

委員

1,600 万円と、改めて、すごくお金がかかるのだなと思った。参加費もあるのだろうが、警備などいろんなことに相当お金がかかるのだろう。それと比べてしまうのだが、市の防犯の面で、先日もテレビでやっていたが、空き巣がこのところ続いているということで、12 ページ、防犯灯電気料支援事業が 1,688 万円とハーフマラソンと同じ金額で、おっ、と思った。市内は暗いところも多く、防犯はすごく強化してもらいたい、お金を見て見比べてしまった。どちらも大切かと思うが、防犯についてはいろいろなところと連携して、進めていってもらいたい。

また、11 ページ、石岡駅周辺整備事業についてだが、駅の周りが整備され、設備を整えてもらったのはプラスであり、市民も喜んでいることと思う。ただ、何回か前の会議でも行ったが、駅周辺は整っているが、街中に駐車場が少ないと考えている。お店がシ

ャッター通りになっているのも、駐車場が少ないことで買い物がしづらい等が大きな原因ではないかと思っている。今後も考えていかなければならないことでは、と思っている。

また、教育の面で、教員不足は全国でも大きな問題であり、東北の方では採用する年齢の上限がない県もある。教員の配置は県で決めている。石岡市だけの話ではないが、教員がいないと常勤講師を採用、となると思うが、先ほど医療の面でも話があったように、教員の常勤講師についても、他の市町村とのバランスもあると思うが、何か石岡市で常勤講師の方が働きやすくなるような工夫ができないものかな、と思う。

それから、16 ページの市民がつくるコンサート開催事業であるが、中央公民館で開催され、今後も継続していく事業と思われる。しかし、例えば石岡地区の南台の方が中央公民館に行きたいと思ったときに、車がある方ならいいが、高齢の方、車のない方が行くのが難しい。そういった方達のために、すぐには無理かもしれないが、バスを出す等考えてもらえると、みんなが平等に聞けるのかなと思う。

あとは、子育てについては、石岡は手厚くなっていると感じている。素晴らしいな、と思う。ランドセルの補助なども、全国を見てもやっている市町村は少ない。他の市町村の方に石岡市の取り組みを紹介すると「素晴らしい、いいね」といわれる。もっと宣伝をして、若い方が石岡に住むようにしてほしい。東京訪問の学校に通おうと思っても、「定期券の補助」もしているのでいいな、と感じている。

委員

13 ページ、「保険医療体制の充実」の中の、総合保健センター(仮称)整備事業であるが、どの程度進んでいるか。また、石岡市で産科の先生がおらず、市内で出産ができない、という課題について、それについての取り組み、外部への働きかけ、そういったことをやっているか。

事務局

総合保健センター(仮称)整備事業については統合に向けて現在進めており、議会等にも報告はしている。状況については順次、HP でも公開している。整備予定地としては、ふれあいの里石岡ひまわりの館近辺ということで、候補地の選定等、進めている。

産科の問題については地域医療対策事業の中で進めているところである。こちらについては動いているところはあるが、なかなか形とはまだなっていない状況である。順次進めていく予定である。

会長

残り2つ議事があり、時間もあるので議事1のリーディングプロジェクトについては以上とさせていただきます。

【次第3】 議事（2）第2期基本計画の進捗について

- ・基本計画における各指標の進捗状況（資料3）
- ・基本背景評価（資料4）

会長 議事（2）第2期基本計画の進捗について、事務局より説明願う。

事務局 それでは、「第2期基本計画の進捗」について、事務局よりご説明する。はじめに、資料3「基本計画における各指標の進捗状況について」をご覧いただきたい。

第2期基本計画では、合計294の指標を採用しており、それぞれの基本施策の進捗管理を行っている。

まず、資料の1ページ目、表紙をご覧いただきたい。四角い枠で囲んでいる、指標区分についてご説明する。

指標は3つに分類されている。

一つ目は「政策指標」である。基本施策を束ねる政策目標ごとに設定しており、全体の進捗を図るものとしている。

二つ目は「成果指標」である。各基本施策における「あるべき将来の姿」の達成に向けて設定している指標で、基本施策ごとの進捗状況を評価するものである。

三つ目は「参考指標」である。各基本施策における主要な取組を推進することによって得られる結果を検証するために設定しており、目標値の達成によって、先ほど申し上げた「成果指標」に結びつくものである。

資料の2ページ目以降では、それぞれの指標の令和5年度実績値を、政策目標ごとに取りまとめている。

また、指標のうち、市民の考えや行動に基づくものについては、政策企画課で実施しています「市民意識調査」の結果によるものである。なお、参考として、令和5年度の市民意識調査の結果については、資料の最終ページに一覧表を記載している。

つづいて、資料4「令和6年度基本施策評価シート」をご覧いただきたい。

こちらは、第2期基本計画の各基本施策について、指標の進捗状況をもとに評価を行ったものである。「基本施策としてのあるべき将来の姿」を達成することが、総合計画がめざす将来像の実現に結びつくことを踏まえ、それぞれの基本施策の進捗状況を確認することで、毎年度施策の方向性の見直しを確実にを行い、次年度以降に力を入れて取り組むべき分野などの参考としていく。

まず、評価基準についてご説明する。資料66ページをご覧いただきたい。

こちらの基本施策評価シートでは、「成果指標の進捗状況」と「参考指標の進捗

状況」の2つの項目の合計点で採点し、AからDの4段階で評価している。

今年度実施した基本施策評価では、A評価が11、B評価が31、C評価が19、D評価が0、という結果となった。評価結果一覧は、表紙の裏面を参照願いたい。また、基本施策ごとの評価シートは2ページから62ページまで、採点表は63ページから65ページに記載している。

C評価の主な要因の一つとして、情報発信や福祉など、事業を実施してから成果・効果が表れるまでに時間がかかる分野においては、評価が低くなっている傾向にある。そういった事業においては、特に、市民意識調査の回答結果が評価に大きく影響している。

評価が低くなった基本施策のうち、成果・効果が表れるまでに時間がかかるような事業は、継続的に実施し、進捗状況を注視しながら、事業の見直し検討を行っていく。また、効果的な取組が足りていない分野においては、新たな事業の立案や、既存事業の拡充などを検討していく。

現在、来年度に実施する事業について検討しているところであるので、資料3の指標の進捗状況や、資料4の基本施策評価の結果を踏まえて、令和7年度以降、重点的に取り組むべき分野などについて、ご意見をいただきたい。

資料3および資料4の説明は以上である。

会長

ただいま事務局より資料3および資料4の説明があった。ご意見を願います。

委員

2点伺います。まず、資料4の41ページ、「家庭の教育力向上と育児参加」について、担当課が生涯学習課と人口創出課になっているが、知り合いで社会教育主事がいるのだが、家庭教育学級の後援などを行っているようである。本来、社会教育主事はコミュニティ・スクールや地域連携といった点を担当するようなので、家庭教育という点も担うとすると職務が多すぎるのではないかと感じている。そのため、家庭教育について社会教育主事が担当するのではなく、市内でコーチングを行っている団体等に委託できないか、社会教育主事の負担を減らせないか、と思った。

もう一つは資料4の44ページ、「コミュニティ・スクールの設置」についてだが、コミュニティ・スクールは、今年4月の時点で全学校に配置という形になっているはずだが、R6時点では、全部設置されているという認識でよいのか。コミュニティ・スクールに関する研修に関しても、9月末に運営協議会向けの研修会を行っているだけだと思うが、笠間市等ではコミュニティ・スクールに関する研修会を定期的に行っている。コミュニティ・スクールについては、担当職員や運営委委員がどうやって関わっていくべきか、わからない点も多いかと思うので、コミュニティ・スクールに関する研修会の回数を多くできないか、と思った。

会長 こちらについては、事務局の方で取りまとめをお願いする。

委員 資料 3、基本計画における各指標の進捗状況について、伺いたいところは全部で 40 数点あるが、時間もないので別途資料でのちほど提示したいので後ほど共有していただきたい。

その中で特に、昨今の異常気象や、防災関連で、6 ページ通し番号 66 番、「急傾斜地崩壊対策事業による整備延長（累計）」という項目があるが、これについては令和5 年から全く進捗がないようなので、ぜひ見直しをしていただきたい。

2点目、7 ページ通し番号 83 番「市内の防犯カメラ設置数(累計)」であるが、昨年度も申し上げたが、防犯カメラが一体何台必要かわからない。もう少し必要ではないか、と感じている。前年度は、「警察と情報がうまく共有できていないため、どれぐらい必要なのか把握できていない」とのことであつたが、かなり空き巣も増えているため、ぜひ防犯カメラの必要数を出したうえで、計画をしていただきたい。

また、9ページの通し番号 109 から 111 の水道関係の話であるが、NHKの調査で石岡市の水道料は茨城で 4 番目に高いということであった。老朽化も進んでいる。そんな中で、八郷は水道事務所、石岡地区市街地は湖北水道が運営をされているようだが、湖北水道企業団の事業計画を見ると、令和8年から水道料を 20% 上げる計画であった。少なくとも水道料金を現状維持、上げないために施策を行っているのかな、と感じている。水道料金に対してどのような施策を行っていくのか、ぜひご検討いただきたい。

17 ページ、通し番号 204「放課後子ども教室に参加する児童数」であるが、これはぜひ市から委託先に働きかけてほしいのだが、令和 9 年の目標は 7,000 名となっているが、委託料で約 2 億 2,000 万払っているようである。この計算であると、一人一回の出席で約 3 万円かかっていることになる。それだけお金をかけているのであれば、ぜひ委託先にもっと放課後子ども教室の参加数を増やすような、具体的なアクションを行うよう市でも働きかけてもらいたい。2 億 2,000 万円のうち、1 億 7,500 万円は国・県の補助金のようなものであるが、それでも大きな金額を使っているのだから、委託先へのプレッシャーをかけてもらいたいな、と思う。

水道料金については、コロナで上がった。日本全国で上がったようである。

委員 歴史観光分野で、資料４の８ページ、「歴史・文化財の保存・活用」ということで、石岡はそもそも歴史が豊かであるが、どうやって活用するか戦略がないと感じている。リーディングプロジェクトでも、10 ページにあったが、どちらかというところと守るというか、最低限やるべきことをやっているだけの話に思える。今後どうやって観光等に生かしていくか、という戦略性が全く見えてこないと感じている。

ひとつ特に足りないな、もったいないな、と思う点は、ふるさと歴史館。石岡市内はもとより、県内外に知られていない。茨城県博物館協会という団体があり、この辺だと小美玉市の資料館等もほとんど加盟しているのだが、それにも加盟していないような状況。存在すら知られていない。ふるさと歴史館の展示はすごく素晴らしい、優秀な学芸員の方がいらっしゃるのだが、本当にもったいない状況。ふるさと歴史館の入館者数の目標値が令和5年度の実績は 2,511 人に対して令和9年度に4,000人、ということだが、どうやってその人数に上げるのかというところは懸念されるところ。観光に歴史を生かす、ということで、文化庁の考えも博物館は観光になる、という方向性になってきているので石岡市ももう少し総合的に考えていったほうがいいと感じている。

新たな歴史的資源、例えば前から思っていたのは高浜駅周辺、あの辺は昭和レトロ的なところだな、と感じており、そういったところにも目をつけていく必要性があるのかな、と思う。歴史的分野をどうやって生かしていくか、というところを来年度以降、戦略的なところを考えていってもらえれば、と思う。

会長 年間でも評価しているが、中長期的な視点をもって取り組んでほしい。よろしくお願いします。

委員 資料4の 51 ページ、「農業の振興」の評価がAになっているが、生活指標が、農業の生産額が伸びたからAと評価していると思われるが、農業の資材高騰等もあり、それも影響していると思われる。そういうことを考えると、評価Aとしたのは甘いのではないか、という印象を受ける。

会長 おっしゃるとおりと思う。再検討をお願いしたいと考える。

委員 資料4の基本施策評価シートであるが、全般でいえるのは基本的に令和9年度を目標にしているが、それまでの各年度にどうしていくかが全く見えない。ぜひ令和7年度、令和8年度、と刻んで表記してもらい、それで令和 9 年度は目標を達成するんだ、という表記の仕方をご検討いただきたい。また、今後の方向性という項目は、訂正的な表現が多いので、令和6年度は具体的に何をするんだ、ということを記載していただければいいな、と思う。

また、61 ページ、「チャレンジする市役所」の「デジタル化の推進・自治体 DX の挑戦」であるが、例えば行政手続きのオンライン化をしようとしているのが令和 13 年という目標になっているが、これはあまりにも遅いのではないか。オンライン化しようとしている手続きが政府は明確に 58 手続きと言っている。ぜひ石岡市の目標も、政府が言っている、おそらく全国の自治体が目標にするその数字に合わせるべきではないか。

さらに、去年から言っているが、BPRについても、去年はいろいろ分析をして、では今年は何をやっているのか、チャレンジする市役所について、見えない。ぜひ進捗状況の

説明をお願いできればと思う。

会長 事務局で答えられる点について、回答願う。

事務局 各年度ごとに目標設定する、という点については、具体的に対応できる部分是对应したい。

61 ページのオンライン手続きの目標数については、確認するようにしたい。

BPRの分析を行った結果について、抽出をして以前より改善している点等を確認しているところである。次年度に向けて、記載ができるようにしたい。

委員 横浜市が進めているのは、自治体のなかで総手続数が多いものを選んでオンライン手続きを導入しているようである。上位 100 手続きをオンライン化しているようである。人口や規模の違いもあると思うが、石岡市もぜひ分析をして、ロジックを作って、手続数の上位手続きはこれであるからここからオンライン化を進めていく、等説明できるようにしてほしいと思う。

委員 市のホームページのアクセス件数の分析はどのようにしている？

事務局 ページごとのアクセス数は担当で把握している。

委員 もう一つお聞きしたいが、子育て支援、人口減少について、市が様々な施策、新たな施策を行っており、非常にいいな、と思った。そういう中で、いろんな市の施策をどうやって市民に宣伝していこうかと考えているか。

事務局 新しい取り組みについてのPRは課題だと考える。ホームページ、SNS等で広報、周知に努めているが、知らない方も多い、という点が課題。庁内でもあらためて、さらに強化するようにすすめてまいりたい。

委員 課題と言ったが、全般の問題になると思うが、どうやって人口減少を抑えていくか、今回の資料を見て真剣に考えた。どうやって、宣伝していくか、恐縮だが提言したい。

今、SNS 等でいろいろな情報が得られるようになったが、人口減少に関しては、子育て支援を含めると、若い人だけでなく、高齢者、父母までもが市の制度、施策について知らない限り、伸びていかない。若い人たちだけじゃない、そう思うと、市としてこんなにいい施策を作ったのに、外に向かって宣伝しないのか、と思う。ぜひ外に向かって宣伝してほしい。スマホ、SNS 等の形もあると思うが、例えば駅の通路、改札の手前で、冊子を作ってみんなに配る等。通勤・通学の人に配ることで、かなり効果が出てくるのではないか。市も待っていてはだめ。市職員が真剣になって課題について何か手を打っていただきたい。よろしくお願いします。

会長 他にご意見はないか。では議事(2)第2期基本計画の進捗については以上とする。

【次第3】 議事(3) 地方創生石岡市総合戦略の進捗について

・総合戦略における KPI 等の進捗状況(資料5)

会長 議事(3)地方創生石岡市総合戦略の進捗について、事務局より説明願う。

事務局 それでは、「地方創生石岡市総合戦略の進捗」について、事務局よりご説明申し上げます。資料5「総合戦略におけるKPI等の進捗状況について」をご覧ください。

まず、総合戦略におけるKPI等について、改めてご説明する。資料 1 ページ目、表紙をご覧ください。

令和5年度までは、総合戦略、総合計画は別々に管理していたが、総合計画第2期基本計画の策定に合わせて、2つの計画を一本化した。それに伴い、双方の施策や指標などを連動する形にしている。

総合戦略は、地域ビジョン「誰もが輝く未来へ 共に創る石岡市」の達成に向けて、4つの基本目標と、すべての施策に共通して取り組む重点化テーマを設定している。また、基本目標を達成するための「講ずべき施策の基本的方向性」と「具体的な施策」を定めている。資料中、真ん中のピラミッド図のとおりである。

さらに、総合戦略における指標については、数値目標とKPIの2種類ある。数値目標は、講ずべき施策の基本的方向性ごとに設定しており、基本目標の達成度合いを検証するためのものである。KPIは、重要業績評価指標の略称で、具体的な施策ごとに設定している。施策ごとの進捗状況を検証するためのものである。

つづいて、資料2ページ目以降の内容についてご説明する。

こちらでは、重点化テーマ、および基本目標ごとに数値目標とKPIをとりまとめている。基本的に、指標の数値自体は、資料3でお示したものと同様である。総合戦略における各指標が、総合計画のどの指標と連動しているかにつきましては、資料中、右端の項目である「総合計画 通し番号」をご覧ください。こちらには資料3の左端の項目である「通し番号」を記載しているので、必要に応じて突合いただければと思う。

指標の進捗状況については、先ほどご説明した、資料3、資料4と内容が重複するので、説明は割愛させていただく。

資料5の説明は以上である。

会長 資料5について、総合計画と総合戦略が一本化する、ということで、より連動する、と

いうことである。ご意見、ご質問等いかがか。

委員

2ページ、KPI2-2「デジタル人材育成のための研修会の開催数(年間)」であるが、KPI というところからすると、育成のための研修会開催は手段であって目的ではない。例えば、市役所内で、デジタル推進を自ら行える人の人数等を目標に置くべきであって、そのための手段としての研修会の開催だと思う。KPIというところについて、手段が目的となっていないか、もう一度よく検証願いたい。

会長

おっしゃる通り。KPIに振り回されているところがある。数値を出せばいいだろう、ということで、安易な数値化をしていないか、しっかりとアウトカムを検証したうえで、検討願いたい。

委員

3ページの一番上、数値目標数 1 の「新規企業誘致・既存企業の新增設件数」であるが、目標数について、年間 1 件であるとか、令和 9 年度で目標値 16 件であるとか、何がいい点となるのかわからない。例えば 1 件増えれば 100 人雇用が増えたことになる、等か。

会長

これも先ほどの意見と同じで、数値を出せばいい、ということになっており、その先の例えばどれだけ雇用が増えたかという点につながらっていない。そういうアウトカムをもっと見なければならぬ。総合戦略については、役割を終えた、とまでは言わないが、かなりKPIに振り回されている。確かに委員のおっしゃる通り、わからない点がある。

委員

デジタル人材育成のための研修会の開催は市職員向けか。公民館の講座の開催の話か。

事務局

市役所の中、市職員向けの研修である。

会長

研修を行い、職員がどれだけデジタルを使いこなしているか、という課題はある。例えば、生成 AI を作成しても、結局使っていない、という話もある。デジタル化に向けて、デジ田という国の補助金もあり、これからはデジタルに関しての個別の基本計画を作成する等、もっと充実させていく必要があると考える。

他にないか。なければ議題は以上である。その他、何かご意見等あるか。

(質疑等なし)

会長

では、3件の議題があったが、これらについては事務局で取りまとめをお願いする。以上で議事を終了とする。

最後になるが、現在の委員任期が今月 17 日で満了となる。委員改選なども含め、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いする。

事務局

事務局から、総合計画審議会の今後のスケジュールについて報告する。

只今、馬渡会長からあったとおり、現在の総合計画審議会委員の任期は、今月の17日までとなっている。

委員の改選については、前回の総合計画審議会でお示した通り、本年度から運用している、「石岡市総合計画第2期基本計画」が、「第2期まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」における KPI 等を内包したことにより、「まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」の進捗管理を実施する「石岡市ふるさと再生会議」の終了を持って、両会議の委員要件を満たした総合計画審議会委員としたいと考えている。

具体的には、「石岡市ふるさと再生会議」の委員任期が本年 12 月 25 日までとなっているので、その後委員の選出等を実施し、来年4月に新たな総合計画審議会としてスタートしたいと考えている。

事務局からの、説明は以上である。

会長

事務局より、今後のスケジュールについて説明があった。このことについて、ご質問があればお願いする。

(質疑等なし)

会長

それでは、以上とする。

現在のメンバーでの審議会は今回が最後ということで、委員の皆様には、2年間にわたり活発な審議をいただき、あらためて感謝申し上げます。これ以降の進行は、事務局にお願いする。

【次第4】 閉会

事務局

会長、ありがとうございました。

会長からもございましたが、委員の皆様におかれましては、2年間にわたり、総合計画審議会へご参加いただき、誠にありがとうございました。また、会長、副会長におかれましては、円滑な議事進行にご尽力いただき、ありがとうございました。事務局より改めて御礼申し上げます。

以上をもちまして、令和6年度 第1回 総合計画審議会を終了いたします。本日はありがとうございました。